



NTAAニューズレター

2013年 6月 第80号



発行 日本テクニカルアナリスト協会

URL <http://www.ntaa.or.jp>

ログインパスワード [ntaaHP](#)

E-mail office@ntaa.or.jp

編集 事務局総務部

目次

1.平成25年度第36回『通常総会』報告

2.協会インフォメーション

1平成25年度第36回『通常総会』報告

平成25年6月15日平成25年度通常総会が兜町平和ビル3階日本証券アナリスト協会セミナー室にて開催されました。

- ・皆様には『通常総会開催のお知らせ』でご案内の通りの式次第で総会は進行了しました。
- ・出席者は1278名（議決権行使書1245名、当日出席者49名のうち議決権未行使者33名）でした。
- ・14時よりの講演の様子はホームページにアップしますので興味のある会員の方はご覧ください。
- ・会場の指名により青木理事長が議長となり進行了しました。理事長の挨拶のあと議案の審議となりました。（以下、会場に出席されなかった会員の為、理事長挨拶を掲載します。）

(1)理事長挨拶

私からひとこと、ご挨拶を申し上げます。
昨年6月に理事長に就任致しましてから1年が経過しました。この間、私が取り組んできました課題・目指す方向などにつきましては、当協会HPや、会報「テクニカルアナリシス」の巻頭言などでご報告しておりますの

で、ご覧になられた方もおありかと存じます。

繰り返しになって恐縮ですが、私の取り組み姿勢の基本は「定款の目的に書かれていることを着実に実行すること」です。そのために、様々なことを行ってきました。

先輩方が築き上げてきた慣行なども、必要なものは残し、改めるべきものは思い切って見直しました。基本的には、時代にマッチしたものへの変更、コストパフォーマンス面からの見直し、さらには、若手会員の皆さんが出来るだけ活躍できる協会へと改革して参りました。

また、IFTAへの提携姿勢も前向きに見直しています。現在、IFTA理事2名のほか、教育委員会委員として、当協会会員が積極的に協力をしております。IFTAのCFTE試験問題作成への協力やそのための教材の提供など、これまでになかった協力も行っており、IFTAから高い評価を得ています。

ご出席の皆様のお手元に新しい当協会パンフレットをお配りしております。長年、微修正しかされてこなかったものですが、これも、新しい観点からいくつかの見直しを行い、作り直したものです。後ほどご覧頂きたいと思います。お気づきの点などご意見がございましたら、なんなりと事務局までお寄せ頂ければ幸いです。

さらに、ここ数年大幅な赤字を計上しておりました当協会財政の見直しも、可能な限り積極的に行いました。僅か1年で成果を出すのは困難ですが、一例を申し上げますと、支出面では、発注に際しての合い見積りは勿論、人件費の見直しや外注していた翻訳の一部などを極力内製に切り替える等、コストを一層重視した予算執行に努めてきました。他方、収入面では、賛助会員の増加や通信教育受講者数の増加にも注力いたしました。

今後の課題は、今まで以上に、実務の合理化・効率化に取り組むことです。その中で、長期的に見てもっとも効果の大きい対策は、従来の紙ベース主体の業務運営から、思い切ったネットの活用・ウェブの活用に切り替えることと考えており、現在、いくつかの案件に着手しております。情報管理に充分留意しながら移行する必要があります、そうした意味では、ペーパーレス化を目指すウェブ化には時間とコストがかかります。が、長い目で見ればこうした初期コストは回収できると考えております。会員の皆さんも、HPの変化や協会フェースブック・メルマガなどをご覧になり、ネット化が進んでいることを実感されておられることと思います。

このほか、テクニカル分析の普及啓発にも積極的に取り組んで参りました。大学での公開セミナーの再開、毎週行われている当協会セミナーのウェブ配信による案内、通信教育パンフレットの改定や個別会社への受講依頼など、会員増加のための諸施策にも前向きに取り組んできました。

これらを実施しても、一気に協会財政を改善することに繋がりはありませんが、昨年度の経常収支は当初計画の523万円の赤字から241万円の赤字へと縮小しました。一昨年の赤字751万円に比べると大幅な改善となっております。

協会事務局メンバー一同、今後とも会員の皆様のご意見を伺いながら、透明性の高い・効率的な協会運営を着実に実施してまいります。当協会が、会員の皆様お一人お一人にとって、本当にお役に立てるよう、これからも心掛けて参ります。引き続きご指導賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

(2) 議事経過の概要及び議決結果

第1号議案 ・平成24年度事業報告と収支決算承認の件

第2号議案 ・平成25年度事業計画と収支予算承認の件

第3号議案 ・定款変更の件

第1号議案～第3号議案まで詳細な議案説明の後、採決に入りました。結果会場よりの反対は一人もなく賛成大多数で可決されました。採決の結果は以下の通りでした。

第1号議案 賛成1253票 反対25票

(反対は議決権行使書による)

第2号議案 賛成1251票 反対27票

(反対は議決権行使書による)

第3号議案 賛成1253票 反対25票

(反対は議決権行使書による)

尚、第3号議案は定款56条に基づき進めていきます。総会終了後、4階の協会セミナー室で親睦会を行い和やかな雰囲気の中、盛会のうちに開催となりました。(財政再建中にて首都圏の参加会員には2000円の参加費をご負担いただきました)
会員各位のご協力に感謝申し上げます。

2. 協会インフォメーション

・今年の総会は6月15日(土)におこなわれました。

会場 中央区日本橋兜町3-3兜町平和ビル3階

【日本証券アナリスト協会セミナー室】

会場は日本証券アナリスト協会のご厚意により使用させて頂きました。当協会の事務局が4階であり、何かと便利に使わせて頂き、財政面も含め大変助かりました。事務局としても心より感謝申し上げる次第です。

・今年は定款制定以来、初めての定款の一部変更を行いました。遅きに失した感はありますが、これからの協会の発展の為には必要不可欠だと思います。

ご決議を頂きましたので、手続きは定款56条に従い粛々と進めてまいります。

・総会が何事もなく、盛会のうちに終了出来たこと会員各位のご協力に感謝申し上げます。

・尚、総会の理事長挨拶を掲載いたしましたのでご一読下さい。この一年協会の改革、活動の一端が判り頂けるものと思います。HPに新パンフレットもアップしてありますのでご参考まで。

・一年間の成果の最たるものは賛助会員の増加です。今まで一社もなかった証券会社、運用、情報会社等、協会と親密な関係が必要な会社の賛助を得られ当協会の知名度が上がったことです。人脈を生かし、その活動、行動が実ったもののご理解して頂ければと思います。前掲の日本証券アナリスト協会もその一つです。(HPの賛助会員欄をご覧ください)

・まだまだやりたいこと、改革しなければと思うところ多々あります。これからも事務局一同〈会員の為〉を目指し行動、努力してまいります。

お気づきの事がありましたらどうぞ事務局までご一報下さい。

・首都圏以外の講演会を8月24日(土)大阪で、9月7日(土)名古屋で行うことが決まりました。詳細は後日お知らせしますが、近隣の会員の参加をおまちしております。(了)

《事務局よりのお願い》

・いつもいつもお願いですが未だメールアドレスの登録がお済みでない方は登録の手続きをよろしくお願いします。メルマガ等でいち早く情報の提供をしています。